

民報 ゆうばり

なくせ原発！許すな再稼働！

原発ゼロへ！子どもたちを放射能から守れ！

「なくせ原発！」の思いをこめて！

3月11日岩見沢市民会館において「なくそう原発」「許すな再稼働」のスローガンを掲げ、夕張はじめ、南空知全域から各地域実行委員会が結集して南空知集会を開きました。

会場は一五〇名をこえる参加者でいっぱいになり、夕張からの参加者25名は夕張女性9条の会が用意した黄色のTシャツやマフラーを身につけて集会の雰囲気盛り上げていました。

実行委員会代表挨拶

原発事故は百年・千年先までも

南空知実行委員会を代表して夕張労連

筒井 勇治 議長 が開会の挨拶を行



な事態であること、そして、被害の実態も判らず、原発技術は未完成、放射性廃棄物の処理方法も未確立であるのに、「原発を続ける」と政府も東電も北電も言

3.11南空知集会に、夕張から25名参加！

集会のプログラムは放射能被害の「内部被曝」について東大アイソトープ研究センター製作のDVDを視聴、「原発ゼロ！へ、安心・安全な社会をめざして」と題し道労連副議長湯本要さんの講演、その次に、美唄、夕張、岩見沢からの報告・発言とつづき学習と運動の両面から内容のあるものとなりました。

講演の中で湯本さんは「未完成な技術と未確立な廃棄物処理技術によってこの先の安全な原子炉状態を作れるのか誰にも判らない、作業者が被曝線量の限界まで働くこと交代し、その補充要員が確保できないところにかけている」とその深刻さを話しました。

被災避難者高橋さん

原発なくす運動を続けたい

夕張から参加し発言した高橋章郎さんは、石巻で被災し、あ

集会アピール

再稼働阻止しよう

集会アピールは、被災地の支援、泊原発を始め一切の原発再稼働阻止、子どもたちを放射能から守る取り組み、脱原発・自然エネルギー活用が提起され、満場の拍手で採択されました。

市民ネット第2回学習会を行う！

3月10日(土)夕張メロンと夕張川の水を守る市民ネットワークでは、日本野鳥の会・十勝支部長の室瀬秋宏さんを講師に招き、『少しずつみえてきた野鳥の暮らしぶり』というテーマで環境学習会がありました。

新生クラブ(紅葉山)の会場には38名の参加者が集い、野鳥観察の勉強をしました。参加者からは以前に比べると野鳥の数が少なくなってきたこと、また、最近はおオウシガ紅葉山から滝の上の流域に見られるようになってきたことなどの意見が出されました。

夕張の自然環境の保全にむけて四季の野鳥観察の活動の大切さを実感させられた学習会となりました。

超高齢化社会に向けて ケアリング研究会公開セミナー

3月11日、札幌で、したいと報告。ケアリング研究会が開催された。3人目は、「超高齢社会のケアリング関係―家族・ジェンダー―地域社会―」(笹谷春美が参加しました。

最初の発表は、「高齢社会のリスクとタスク」(金子勇北海道大学学教授)で、少子化する高齢化社会は社会全体が衰退すること、3割の非正規労働者を放置してはいけないこと、危機感を「ワーク・ライフ・バランス」(課題)を持ち、タスク(課題)を明確にして、リスク(危険)を減らしていくことが提言。

2人目は「高齢過疎地域社会における独居老人の生活現状と課題」(三島京子清光園居宅介護支援事業所所長)で、ご自身の半世紀と夕張の半世紀を比較しながら、夕張の高齢者介護の実態、命のバトンの紹介、今後の問題点や取り組みなど。高齢者は多くても元氣な夕張に

2012 国際女性デー 夕張集会開かれる！

3月4日、「なくそう原弊！安心・安全な社会を生かそう憲法！広げよう！雇用・くらし・平和を守る女性の共同を！」のテーマで「国際女性デー夕張集会」が行なわれ、47名が参加しました。

集会には、夕張労働連筒井議長とくまがい市議の挨拶があり、続いて夕張市長のメッセージが紹介されました。

第1部は「TPP ってなに？私たちのくらしに関係あるの？」と題して、長沼町議会議員・藪田亨さんの講演がありました。TPP の参加で、アメリカ基準が押し付けられ日本の食の安全は壊されること、日本の財界は自分達の儲けのため TPP 参加を推し進めていること、自給率



TPP の問題点をわかりやすく話された藪田さん

が下がり、物が安くなるなどまやかしかであることなど、大変わかりやすく話されました。

第2部は、「心と体をほぐそう！」と太極拳式体操や、歌声で楽しみ、心と身体をリフレッシュしました。

ス」が大切と言いつつ、だが、「ワーク・ケア・ライフ・バランス」が大切で、介護のために仕事を辞め、貧困化しないシステム作りが必要。最後のまとめに、笹谷先生が「北欧では



解決しているのだからできるはず。力を合わせていきましょう」と締めくくりました。



13日、夕張中で卒業式が行われ、62名の卒業生が巣立ちました。



「国会かけある記」
日本共産党参議院議員
大門 実紀史

「あんた賢いなあ」

この間、わが党の「消費税大増税ストップ！ 社会保障充実、財政危機打開の提言」をもって、日本チエーンストア協会(大手スーパーやコンビニチェーンの全国組織)や中小企業家同友会など各界の中央団体と懇談をしてみました。各団体とも、消費税とデフレや財政再建の関係など、幅ひろく意見交換することができ、将来の国民負担のあり方についての考えは違っても、現下の経済情勢で消費税増税をすべきではないという点ではおおむね一致することができました。

また被災地では「これから復興というときに、消費税増税なんてとんでもない」という怒りの声があがっています。

先日、震災復興問題で、宮城県の商工会議所を訪問したとき、消費税が話題になりました。この間、被災地の商工会議所では、面倒見のよいわが党への信頼が高まっていますが、もともと自民党支持の強いところ。役員の方が「全体で消費税を上げるのは仕方ないが、宮城県だけは上げるなど首相に言ってくれ」といわれるので、「それは無理でしょう。宮城県だけ消費税が5%で他が10%になったら、日本中から宮城県に買物に来て、モノ不足で物価が暴騰、10%どころじゃ済まないですよ」と説明したら、「あんた賢いなあ」と褒められました。

明確に反対の声をあげてもらうまでにはもう少し時間がかかる気はしましたが、日本共産党と商工会議所が打ち解けて消費税の話ができるまでの関係になったことを嬉しいなと思えました。